

## 令和5年度 第5回部長会議 会議記録（要旨）

開催日時：令和5年7月13日（木） 15時00分から17時00分まで

開催場所：第2委員会室

出席者：佐藤市長、高田副市長、原田総務部長、林企画部長、小倉リニア推進部長、牧島リニア駅周辺整備担当参事、橋本市民協働環境部長、田中ゼロカーボンシティ担当参事、林健康福祉部長、高山こども・子育て担当参事、今産業経済部参事、井田建設部長、佐藤建設部参事、岡本危機管理部長、佐々木上下水道局長、齊藤市立病院事務局長、北原会計管理者、秦野教育次長、筒井議会事務局次長、佐々木財政課長、小室秘書課長、小椋南信州広域連合事務局次長、澤柳企画課長

## 会議内容

## 1 理事者あいさつ

## &lt;市長&gt;

- ・令和5年飯田市議会第2回定例会の一般質問の中で本質的なところを考えさせられた。一般質問のやり取りが済んで終わりということではなく、質疑の先にあるものを掴み対応していくということが大事。そうした視点で質問に対して、どのように答弁したかを振り返っていただきたい。
- ・まちづくり懇談会が始まっており、現在7カ所終わった。各まちづくり懇談会で出された事項について、しっかりフォローをお願いしたい。
- ・部長級の皆さんは、1カ所は出席し、どういう雰囲気で行われていて、どんな意見を市民の皆さんが持っているのかを肌で感じていただきたい。
- ・グループウェアの掲示板に「市長室から」の中で「グループ」と「チーム」という話を掲載した。集団で仕事をする、集団の中で役割分担をするということが通常我々が行っていることではあるが、そこに留まっている間はグループでしかない。そこを超えてお互いが手を伸ばしたり、化学核反応を起こすことで、一つの大きな目標に向かっていくチームになる。グループからチームに向かうことは、非常に難しいことではあるが、自分の仕事にお互いが線を引いてしまうと、どうしても取りこぼしも出るし、相乗効果も生まれにくい。まずは与えられた役割をしっかりやることも大事だが、それを超えてより大きな目標に向かってみんなでやっていくというチームを、それぞれ課のレベル、部のレベル、市役所全体に作っていくことが大切である。市役所は、そういう力を持った職員の集団であると思うので、ぜひチーム作りを部局の長の皆さんでやっていきたい。

## &lt;副市長&gt;

- ・今回の議会の中で水道料金改定に係る条例改正は大きなテーマであった。水道事業以外にも市民の生活の利便性を向上させるため、あるいは生活の安全安心を守るためのインフラを良好に維持をしていくことは私たちの使命。今回は上下水道事業、運営審議会も含めて丁寧に説明をし、ご理解をいただいて、料金改定の条例改正が出来たが、長期的な視点で仕事の方向性を検討し、それを周知する努力は不断にやっていかないといけないこと。それぞれの部署で確認をしていただきたい。

## 2 報告事項

## (1) 議会による行政評価について

## ◇趣旨

- ・議会による行政評価について報告する。  
(企画部長)
- ・評価をする基本目標は、基本的には去年実施しなかったものだが、各分科会でどれを取り上げるのかが検討されることになっている。
- ・議員は紙ベースで基本目標と小戦略の評価を持っている。事務事業進行管理表はタブレットを使い、データで見る。
- ・議会との去年の反省を踏まえ、説明は端的でありながらも丁寧にお願いをしたい。また、どこを説明しているかが分かるように説明すること。基本的には書いてあることを説明していく。口頭のみで説明する場合は断ってから説明をした方が親切。

- ・課題や方向性で書き込んであるものについて、既に令和5年度で取り組んでいるもの、あるいは令和4年度から取組が変わっているものに関しては、説明をしていただきたい。評価の時点で既に取り組んでいるということであれば、その部分を踏まえて評価をしたいとの議会の意向への対応である。

#### ◇意見

(ゼロカーボンシティ担当参事)

- ・ステップ1の執行機関からの説明として、各常任委員会の所管事務調査に関わりの深い事務事業、意見集約の結果課題があると思われる項目に関連する事務事業など、評価対象とする事務事業の選定を行うとなっている。一方で9月の決算議会では、事務事業を主要な施策の成果説明書として使っていくため、説明が重なるのではないかと懸念がある。行政評価で行うべきことは、基本目標や小戦略に対して、この事務事業がどういう役割を果たしたかという説明がなされるべきであって、9月に行う決算議会の中では、予算執行の適正性やアウトプットに対して予算がどのように適正に使われたかという説明になるのが本来ではないかと思う。この辺の交通整理をどのように考えているか。

(企画部長)

- ・昨年も行政評価で説明したものに関しては、決算審査の時には説明を割愛していた。今年もそういった流れになると思う。

(ゼロカーボンシティ担当参事)

- ・同じ説明が多くなる可能性があるが、2度目は省略するということか。

(企画部長)

- ・議会の評価の事務事業の視点でも、小戦略に位置づけることは書かれているが、選定してくる事業は所管事務調査に基づく部分。説明の仕方とすると、上位にどう位置づいているかということも含めて説明いただきたい。
- ・基本的に部長の出席については、各マネジメントリーダーと相談をし、決めいただきたい。

## (2) 令和6年度戦略計画（小戦略）構築及び令和6年度当初予算編成について

#### ◇趣旨

- ・令和6年度戦略計画（小戦略）構築及び令和6年度当初予算編成について報告する。

(企画部長)

- ・基本的な流れは昨年度と同じ。昨年度の場合は重点調査通知に、留意点として、若年層が住みたいと思うまちづくりやDXによる社会課題の解決やウィズコロナ社会へのモードチェンジを視点として入れさせていただいて、ご検討いただき重点調査シートを出していただいた。
- ・今年の場合は少子化対策やゼロカーボンシティの実現に向けた取組については本部会議を立ち上げ、既に検討が始まっているため、その流れを汲みながら、最終的には重点調査シートへまとめていただき、理事者協議を経て、予算編成方針へまとめていく。最終的には戦略計画や予算編成へ繋がっていく流れを先に検討していただいているところと整合をとっていききたい。

(こども・子育て担当参事)

- ・少子化対策について、前回の部長会議で産み育てやすい地域の実現に向けて課題提案を募ると説明をした。そのフォーマットと保存場所を今後各部局へ通知をする予定。フォーマット自体が令和6年度の戦略計画あるいは来年度の当初予算編成の重点調査シートに転写できるように、同じことを何度も書くことがないように配慮をしたい。
- ・少子化対策を自分の部内のテーマとして、課題提案することが難しい場合もある。課題として強い関連がある課や部については、少子化対策検討委員会にも参加していただいているが、こちらからも出向いて相談していきたい。

(ゼロカーボンシティ担当参事)

- ・ゼロカーボンについては、既に推進本部会議を5月・6月と重ねて開催しており、既に各課長の勉強会が完了し、7月18日を提出期限として、各課に提案シートの提出を依頼している。集約したものを8月のゼロカーボンシティ推進本部会議において協議し、予算額をある程度固めたものを9月のゼロカーボンシティ推進本部会議で協議をする予定である。
- ・重点調査シートの提出が9月15日になっているが、現在進めているものをそのまま転写できるように配慮し、なるべく事務が省略化されるように進めてまいりたい。日程をご理解いただきたい。
- ・ゼロカーボンとどう繋がるのか相談を多く受けており、現在課長以下が現場に出向きご相談させていただいている。遠慮なくお声掛けいただき面白いアイデアを出していただければ本当にありがたい。良いかたちで予算に繋げていけるよう、みんなで進めてまいりたいのでご協力をお願いしたい。

(企画部長)

- ・戦略計画は、目標に向かって、部局や課の枠を超えて、戦略的に事業の構築や見直しをしていくという仕組み。戦略をバスケットに見立てて、関係する事業を投げ込んでマネジメントリーダーを中心に組み立てをしていただく。特に少子化とゼロカーボンに関しては戦略計画の本来の姿を示していくもの。各マネジメントリーダーは事業の組み立てをする際、こういった視点を踏まえていただき、戦略の組み立てにご協力いただきたい。

### (3) 令和6年度戦略計画策定に向けたデジタル活用に関するヒアリングの実施について

#### ◇趣旨

- ・令和6年度戦略計画策定に向けたデジタル活用に関するヒアリングの実施について報告する。

(企画部長)

- ・DXの取組を進めていくに際しては、専門性もあり、分かりにくい部分があると思う。デジタル推進課も一緒になって取組を進めていくために、相談をさせていただきたい。
- ・ツールとしてのデジタル化が目的になってしまうと何をデジタル化するかという議論になってしまうが、地域課題側からどう解決していける手段があるかという視点から入っていただくと実は自分の担当の部署だけではなく、他の部署と一緒にすることでもっと効率よくできたという技術も出て来るものと思う。そういった視点も持ちながら、この取組をしていくことが大切。

### (4) 信州大学新学部誘致推進協議会 令和5年度総会・講演会の開催結果について

#### ◇趣旨

- ・信州大学新学部誘致推進協議会 令和5年度総会・講演会の開催結果について報告する。

(市長)

- ・情報系の人材育成の新学部の出し方として、現在のところ信州大学からの新学部設置に関する情報というかたちで出てこないのではないかと分析をしている。可能性を引き続き追求していくに際して、情報系を取り下げることはないが、この地域に必然性があり、強みがある分野について信州大学側にアピールしていく。
- ・信州大学は、水・エネルギー共創支援センター（仮）を設置するための国の交付金20億円を申請し、採択されている。
- ・これまでのこの地域での取組や、あるいは既にある地域資源などを考えると、県内での優位性はあると思う。こうした考えを先日の総会で申し上げた。
- ・情報系にこだわらずにこの地域に強みのあるものに広げて考えていると話をしているので、部長の皆さんには、いろんな機会ですらう話をしてもらいたい。

(企画部長)

- ・今まではどちらかという大学の検討状況を見守るという視点が強かったが、大学の検討結果を待つことなく、この地域の強みを整理しながら、大学との連携の可能性をきっちり描いて情報発信していきたい。先ほどの領域についても、ぜひ関係する部局の皆様方と話をさせていただきながらどういう可能性があるのかを探っていきたい。

### (5) 飯田警察署現地改築及び（仮称）南信運転免許センターの併設並びに長野県飯田創造館について

#### ◇趣旨

- ・飯田警察署現地改築及び（仮称）南信運転免許センターの併設並びに長野県飯田創造館について報告する。

(企画部長)

- ・活動を継続するために連合長が提案をした協議の場での議論がスタートし、ステージがひとつ上がったという理解である。この協議の場で、設備や展示方法といった施設の機能や運営の仕方なども含めて議論をしていく。
- ・当初からの説明不足に対する批判もある中ではあるが、今後、県と広域連合と飯田市で協議の場を丁寧に進めていく。
- ・当市は教育委員会の生涯学習・スポーツ課が参加をいただいている。活動の場もだが、公民館へも受け入れをしていくため、調整していく。

### 3 令和5年飯田市議会第2回定例会の反省について

(市長)

- 本質的なところを考えさせられる質問の一つとして、議員のサステイナブルツーリズムの質問があった。これからリニア時代に向けてこの地域の観光をどうしていくのかを考える際の、キーワードになるのはサステイナブルツーリズムだと考えている。他の議員からのサイクリングの話やランニングコースの話もあったが、この地域の将来のツーリズムについて、観光ビジョンとしてまとめていく必要があり、来年度の予算の中で、リニア時代に向けて、それを関係者の皆さんに共有しておくことが大事。リニアの駅周辺にどんな機能を置くか。また、遠山郷の道の駅を改修するが、そこでどんな案内を行うかというときにも、まとめていくことは大切になる。産業経済部長を中心に来年度1年かけてまとめて、そこからいろいろな取組に生かしていく。

(副市長)

- 一般質問の中で提案型のようなものは、ちゃんと対応すること。
- 執行機関側の答弁の最中にブザーが鳴った。それは避けるようにすること。時間の整理を答弁する側する必要がある。
- 今回会期中に災害が発生したり、不適切な事務処理の報告があったが、会期の中に謝罪と補正予算の審議まで出来て良かった。

(企画部長)

- 基本事項の徹底を再度ご確認いただきたい。
- 挙手や発言の仕方。数値の訂正が、かなり多かった。サイドボックスのページの通知の仕方について、ページが動かない場合は再度通知をする必要ない。なるべく通知が頻繁にならないような説明の仕方や資料の作り方を心掛けること。
- 議会日程は事前に分かっている。業務のスケジュールを調整していただく中で、なるべく初日の提案で議案を提出していただきたい。
- 質問どりの際の話と実際の質問の内容が変わった議員が今回もいた。答弁調整する課で苦労されたところがあると聞いている。
- 議会の答弁整理票の作成にあたり、記載事項を記載例に沿って書いていただくよう、部長もチェックをしていただきたい。例えば1問1答になっていないもの、市の方針が抜けているもの、聞き取りや争点为重点になっていないもの、市の方針に答弁が書かれて長くなくなっているもの。一度目を通していただいて確認いただけると、全体として待機していただく時間も減ってくるため、ご協力をお願いしたい。

(産業経済部参事)

- 昨日定期監査があり、サステイナブルツーリズムについて、似たような質問があった。いろいろやっているのは分かるが、飯田市としての観光をどう考えるかご指摘があった。商業観光課と一緒に検討させていただきたい。
- 一般質問では、農地転用の話があった。飯田市は全然出来ないが、高森町に行くと開発できるという話があった。昨日の定期監査で監査委員からも農地転用の話が出た。農業委員会や農業課と協議をし、リニアに向けて土地利用計画をまとめていく中で、綺麗に整理させていく必要があると思うので、進めていきたい。

(市長)

- 議員とのやり取りで、向こうが理解していない状況を踏まえておらず、一部で噛み合わずにずれていたものがある。部長たちが答弁するときに、この人は理解していない、誤解をしているときには、そこを踏み込んで、答弁しないといけない。
- 答弁の分量が多いものがあった。

### 4 その他、連絡事項

(1) 伝票返戻調査実施に伴う返戻状況(事由及び件数)について (会計課)

◇意見

(産業経済部参事)

- 産業経済部では、起票日見誤りや請求書番号漏れというような軽微ミスが非常に多かったと各課からは報告を受けている。各課長・係長に改めて、周知徹底したい。

(会計管理者)

- 会計年度任用職員が変わると、返戻率が上がる。その時に各係長課長にしっかり目を通していただきたい。

(企画部長)

- 新しい体制の中で初めての伝票返戻調査だった。今この段階できちんと振り返って確認しておくことが大切。こういうことから一つ一つ目を潰していくことが大事。各課へ持ち帰り共有をしていただきながら、

対策を進めていただきたい。

## (2) その他、連絡事項

(危機管理部長)

- 昨日からの雨の状況について、人的被害、住家被害はなかったが、昨日の夕方から遠山地区の全域で停電が発生した。中部電力(株)に確認したが、原因は不明。順次復旧はしている。現在は上村の程野より北側で若干停電している。復旧の見込みはまだ立っていない。
- 龍江の今田平のマレットゴルフ場で倒木が20本から30本、座光寺のマレットゴルフ場で倒木が50本から60本あった。両方とも河川敷になっているところ。
- 南信濃の名古山の国道について、時間雨量が20ミリに達したので、本日の9時半から通行止めとなっていたが、本日午後1時には解除になっている。

(企画部長)

- 停電に伴い、ケーブルが程野の一部で電波が届かなくなった。

(上下水道局長)

- 水道関係は、停電に伴い、昨晚池口の配水池で水位低下があり、給水車の準備はしたが出勤はなかった。

(こども・子育て担当参事)

- 被害状況は、IPメッセージ等で共有しているのか。

(危機管理部長)

- 共有していない。

(こども・子育て担当参事)

- できれば停電については、IPメッセージ等を使い、リアルタイムで共有をお願いしたい。

(会計管理者)

- 道路関係も通行止め等あれば共有していただきたい。

(建設部長)

- 通行止めの関係は、止める前に上村、南信濃全地区にご連絡をして止めている。庁内の情報共有についても配慮する。

(教育次長)

- 現在東中の生徒会でクラウドファンディングをりんご並木70周年に合わせて行っている。生徒たちが頑張っているのも、皆様方もぜひ情報を拡散していただけるとありがたい。現在確認したところ、109万円で、目標170万円の64%まで来ている。関係者の皆さんを通して、情報共有していただけるとありがたい。

(会計管理者)

- 昨日今日で会計課と財政課で協力し、研修会のWeb動画の撮影をしている。後日通知を発出するが、来週から見られるように準備しているので、会計事務担当者以外の方もご覧いただきたい。

## 5 閉会